

【さくらの杜保育園】

設置者：平成レッグス株式会社

従業員数（男女比）：32名（21：11）

主な事業：タクシー業、体操教室、不動産管理

（１）運営の概要

保育所の場所	〒761-8031 香川県高松市郷東町 116 番地 1 JR 高松駅から車で 10 分、バスなら香西方面行で郷東橋バス停下車徒歩 5 分または JR 香西駅から徒歩 15 分		
運営方式	外部委託（株式会社チャイルドケア 24）		
定員	12 名（従業員枠：6 名、地域枠：6 名） 0 歳児：8 名、1 歳児：2 名、2 歳児：2 名		
児童対象年齢	0 歳児、1 歳児、2 歳児		
保育時間	（通常保育）全日：7：30～18：30 （延長保育）全日：18：30～19：00		
利用料金	（月極保育料）34,200 円～34,300 円 / 月 （延長保育料）500 円 / 1 回		
共同設置・共同利用の有無	5 社での共同利用（弊社及び近隣高齢者施設 3 社、外部委託先事業者 1 社）		
職員体制	施設管理者 1 名、保育士 7 名（保育士比率 100%）、調理員 2 名 看護師 2 名（体調不良児対応専属）		
保育室面積	52.99 m ² （内 授乳室 35.59 m ² ）		
整備（設置）費用 見込でも可	助成費用 見込でも可	約 2,000 万円 （土地、建物費用）	約 1,400 万円
年間運営費用 見込でも可	年間助成費用 見込でも可	約 5,000 万円	約 4,000 万円

（２）設置までの流れ

設置までの検討期間	平成 28 年 4 月～平成 28 年 6 月
整備費申請年月日	平成 28 年 6 月 20 日
運営費申請年月日	平成 28 年 6 月 6 日
整備費採択年月日	平成 28 年 9 月 5 日
運営費採択年月日	平成 29 年 2 月 8 日
工事期間	平成 28 年 9 月～平成 28 年 11 月
開設年月日	平成 29 年 1 月 1 日

（３）設置のきっかけ・背景・理由

1. ドア・ツー・ドアサービスが可能なタクシーの特性から、高齢者のタクシー利用増加が見込まれる。
2. 全国的な傾向として、タクシー乗務員は高齢化し、慢性的な労働力不足になっている。
3. 高齢者の移動サービスに特化した事業展開のため、お客様アンケートの結果で安全運転と親切な接客への期待が高かった女性乗務員の確保を目指すこととした。

4.これまで労働力として活用できなかった子育て中の女性層から人材を確保するため、保育園の設置を目指すこととした。

(4) 設置までのプロセス

社内における意思決定のプロセス

- 1.シルバーサポートタクシー（SST）高齢者いきいきお出かけ事業の中期的プラン作成
- 2.経営革新計画の作成（中期収支予算）
- 3.社内に SST 事業部の設置を行い、毎週企画会議を開催
- 4.助成決定の結果を受けて、事業は本格的に始動

従業員のニーズの把握や利用者の見積りについて（地域枠の設定・規模の検討を含む）

高松市の待機児童数は 321 名（平成 28 年 4 月 1 日現在）であることを踏まえるとともに、弊社の従業員規模から定員は 12 名とした。また、地域枠を設定することとした。

土地、場所の確保について

保育園は弊社の社員用に借用していた隣接の駐車場を転用し、建設用地とした。また、新たに従業員の増加が見込まれることから、新駐車場を借用した。

設置方式の選択について

本業でこれまでつながりのあった近隣の高齢者施設を中心に共同利用の提案を連携推進員が行った結果、3社と契約を結んだ。また、保育業務の委託先企業とも共同利用の契約を結んでいる。

自治体との連携について

自治体には申請時から相談に伺っており、開園に向けて 11 月からは保育園のチラシの配布の協力をいただいた。これからの安定経営のためには、自治体との連携は不可欠である。

保育士の確保方策について

外部委託方式を採用した。

上記のほか、特に留意した事項や工夫・苦心した事項 等

保育園の設計に関し、安全性に特に配慮した。壁、柱などは角を取り、クッション材なども各所に使っている。（専用施設として新築した効果）

ロゴマークを作成し、ホームページの作成も進めており、入園児の保護者向けと、一般の方向けの目的別内容としている。また、SNS も活用し、保育園のブログとして利用している。

(5) 保育施設の運営について

保育施設の特色、取り組んでいる保育内容

保育の質の確保は計画当初からの課題であり、保育園の設計においても専門家のアドバイスが必要であったが、その問題は外部委託方式を採用することによって解決された。

自園調理による安心な給食、おやつ（1日2回）の提供をしている。

入園式などの季節行事を行っている。弊社の経営するサンハート体操教室とコラボしているのもこの保育園の

大きな特色であり、専門の公認ジュニアスポーツ指導員が幼児期からのスポーツ活動に取り組んでいるスポーツ保育園でもある。(指導料は保育料に含まれる。)

小規模保育の特徴を活かした家庭的な運営ができています。体調不良児対応施設である。

加算：預かりサービス加算(余裕活用型) 連携推進加算

従業員と地域の利用者の声

保育園の開園に伴い、新しい人材を迎えることができた(ハイレベルで若い女性ドライバー4名を新規採用。弊社社員の児童5名(SST4名、体操教室1名)、共同利用企業の児童1名、地域の待機児童5名が入園。)(2017年1月1日現在)

従業員からは「保育園が会社に隣接しているので便利である。」「保育園のある職場だったので、仕事に復帰することができて嬉しい。」など、保育園は大変歓迎されている。

また、地域枠の保護者からも、「長い間待機児童であった。入園できてよかった。」との声が届いている。

(6) 現在の課題と今後の取り組み予定

安定経営のための安定的な園児確保が課題である。待機児童が解消された後のために保育の質を上げるとともにホームページの充実をはじめ広報活動を進め、地域での定着及び評価を高めていかなければならない。

(7) 従業員への子育て支援を進めようとしている他社へのメッセージ

近江商人の「三方よし(売り手よし、買い手よし、世間よし)」の経営理念は今日重視されるCSR(企業の社会的責任)の原点とも言える。企業主導型保育事業はまさに三方よしの理念と重なる事業であり、より多くの企業が力を合わせ、待機児童ゼロを目指したいものである。

記載内容につきましては、内閣府HPに掲載されている「平成28年度 子ども・子育て支援新制度フォーラム」配布資料もご参照下さい。(URL: <http://www8.cao.go.jp/shoushi/shinseido/event/forum/2016/index.html>)

